

顕在化している主な課題について

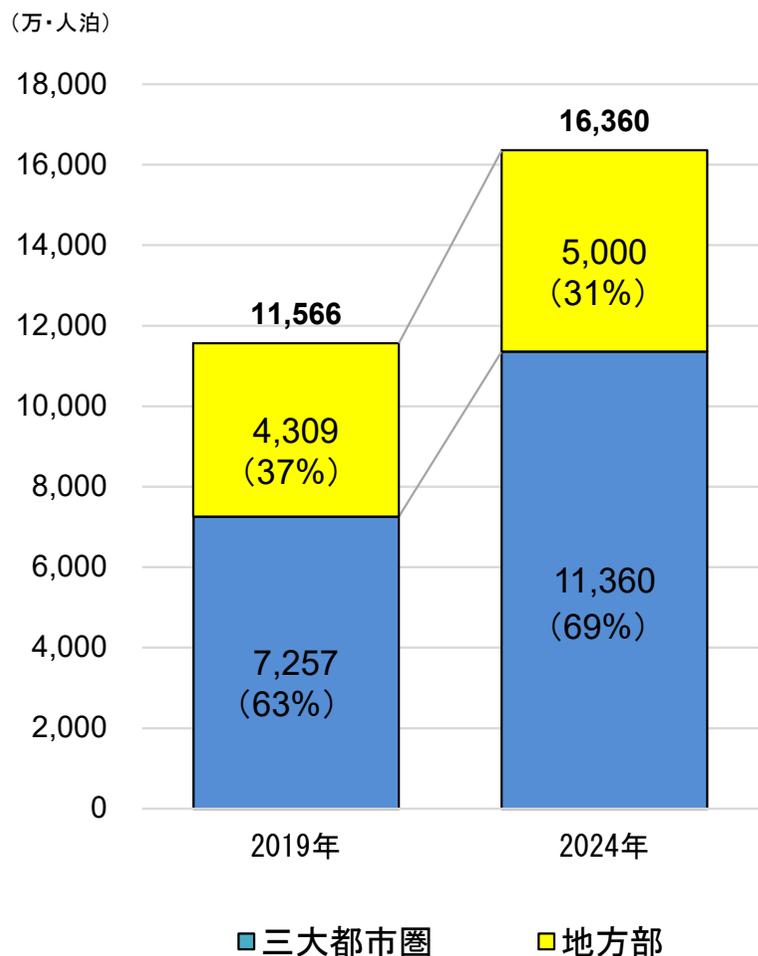
令和7年4月

顕在化している主な課題<インバウンド>

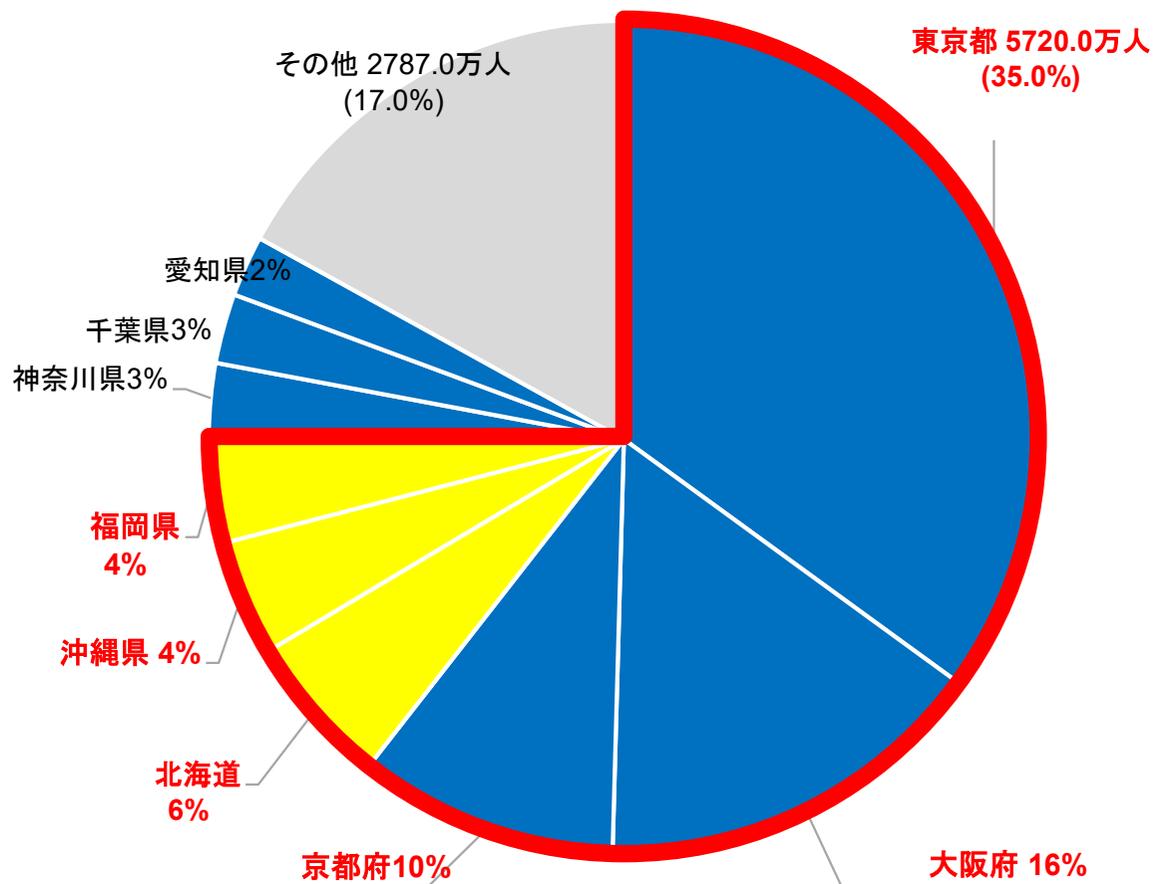
宿泊先の三大都市圏への偏在傾向

- ◆ インバウンドの宿泊先の約7割は三大都市圏に集中。
- ◆ また、東京都・大阪府・京都府・北海道・沖縄県・福岡県の上位6都道府県に約75%が集中。
- ⇒ コロナ前よりもその傾向は強まっており、引き続き、**地方誘客の取組が重要**。

外国人延べ宿泊者数の2019 - 2024年比較



外国人延べ宿泊者数 都道府県別割合 (2024年)



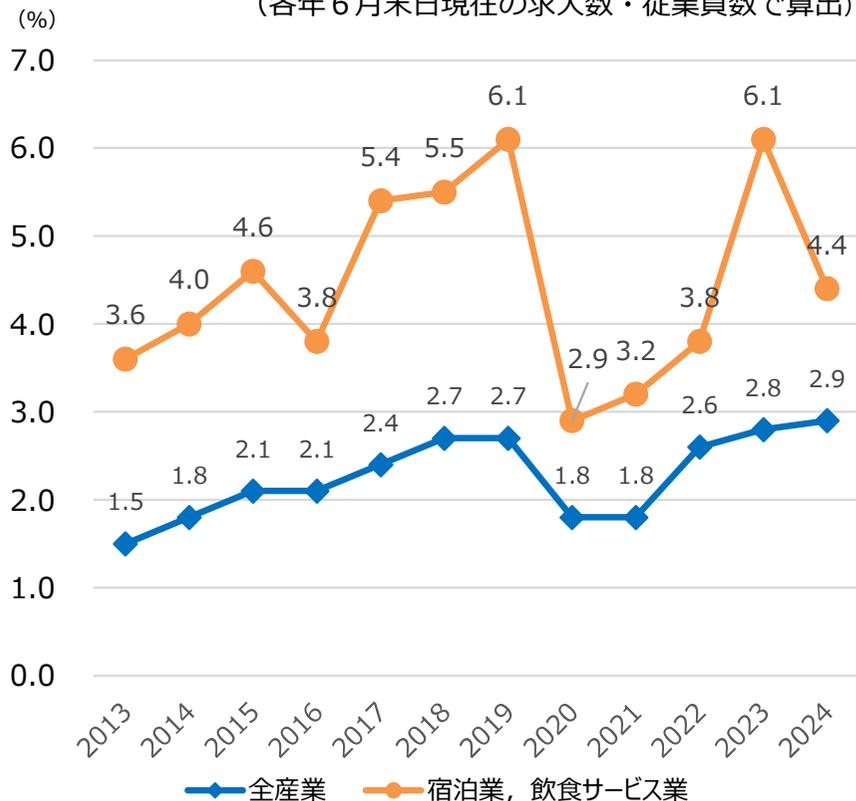
顕在化している主な課題＜持続可能な観光地域づくり＞

観光産業における人手不足

- ◆ 宿泊業については、他産業と比較して欠員率が高く、構造的な課題として人手不足が顕著。
- ⇒ 近年では急速な観光需要の回復等に伴い、人手不足感の高まりも見られ、**対策への取組が急務**。

全産業・宿泊、飲食サービス業における欠員率の推移

※欠員率 = 求人数 ÷ 従業員数
(各年6月末日現在の求人数・従業員数で算出)



出典：厚生労働省「雇用動向調査」
※全業種で9,024者が回答（R6年上半期調査）

オーバーツーリズムへの対応

- ◆ 観光客が集中する一部の地域や時間帯においては、混雑やマナー違反等による**地域住民の生活への影響**や、**旅行者の満足度の低下への懸念**といった課題。
- ⇒ 地域の実情に合わせた、**受入環境の整備・増強、需要の分散や平準化、マナー啓発等の取組が重要**。

地域において生じている課題の例

マナー違反

- 美しい風景の写真を撮るために農地（私有地）への立ち入りが多数発生 [北海道美瑛町]
- 人気アニメの影響で有名な踏切周辺において、写真撮影のため多くの観光客が公道に滞留 [神奈川県鎌倉市]



混雑

- 観光客の車両が集中することで交通渋滞が発生
- 生活道路や農道への違法駐車により、生活交通が妨げられている [北海道美瑛町]
- 主要観光地へ向かうバスを中心に、バスターミナルや車内が混雑
- 大型手荷物の持ち込みで円滑な運行に支障 [京都府京都市]



自然環境への影響

- 自然体験を求める観光客の増加に伴い、自然環境の劣化や利用快適度の低下が発生 [西表島]

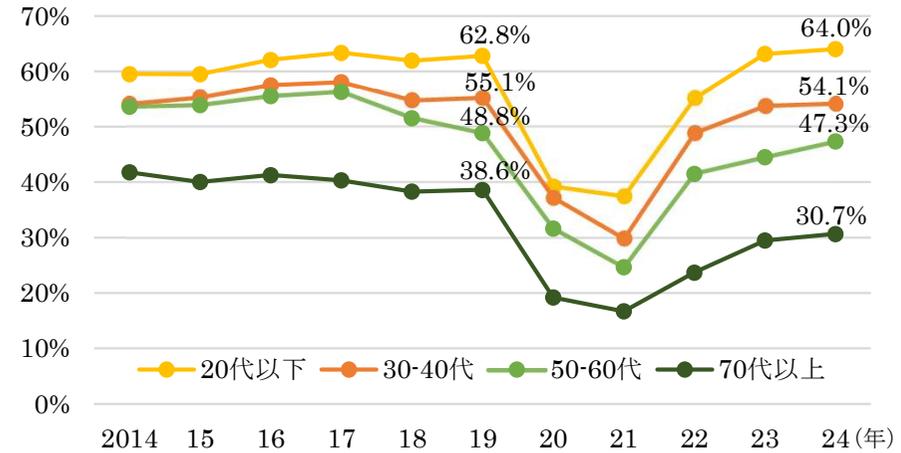


顕在化している主な課題＜国内交流拡大＞

国内旅行需要の維持

- ◆ **年代別国内旅行経験率は、若年層ほど高く、高齢層ほど低い。**
また、若年層ほどコロナからの回復が堅調であるが、高齢層ほど回復が遅い。
 - ◆ 2050年には65歳以上人口が総人口の約37%、約3,900万人と推計されており、**少子高齢化による国内旅行市場への影響は避けられない。**
- ⇒ 人口減少・少子高齢化の影響が避けられない中、高齢者等の旅行需要の喚起など新たな交流市場の開拓も含めた**国内旅行需要の維持・拡大が重要。**

年代別国内宿泊旅行経験率の推移

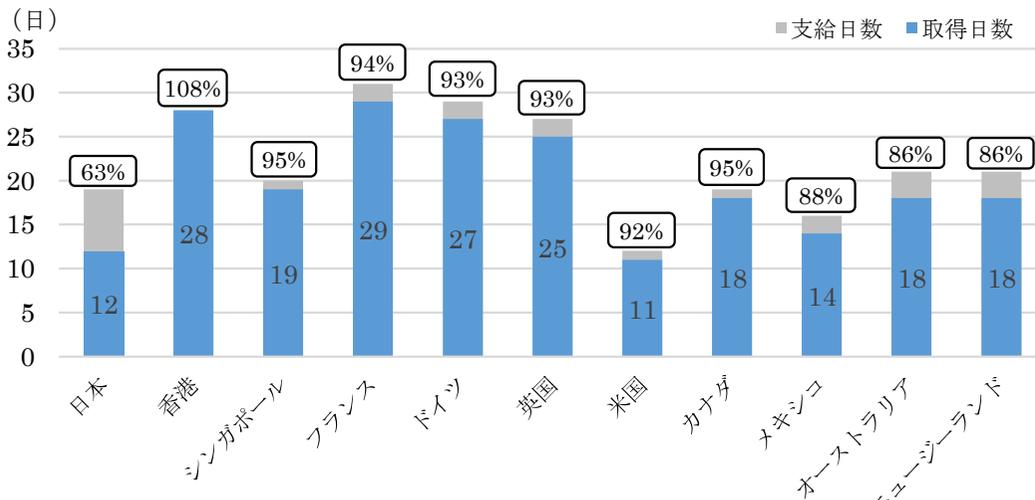


出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」(観光・レクリエーション目的) 注1：2024年は速報値。

旅行需要の集中

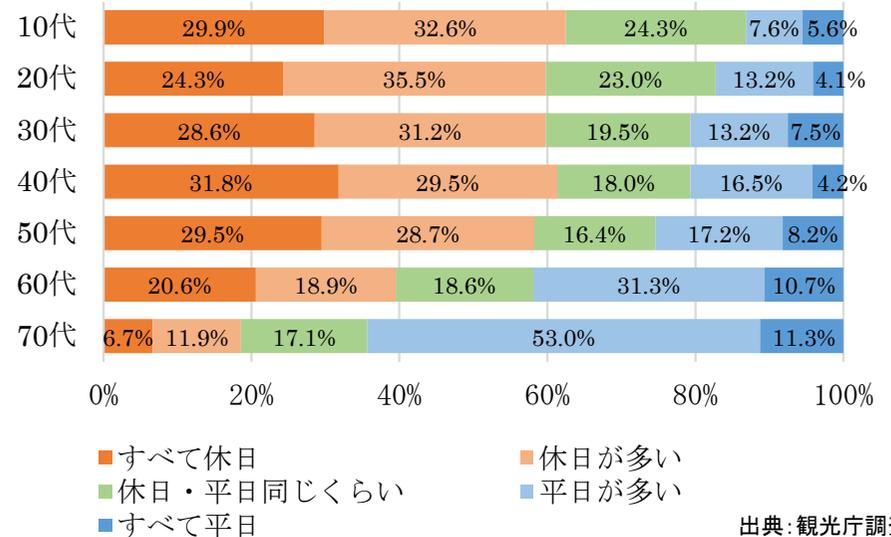
- ◆ **日本の有給休暇取得率は約6割と11か国・地域の中で最も低い。**日本では国民が一斉に休日を迎え、旅行時期の集中につながっている。
 - ◆ **10代～50代の約6割が主に休日に国内旅行を実施するなど、旅行需要が集中し、旅行費用の高騰や観光地の混雑につながる恐れがある。**
- ⇒ 休暇取得の分散化促進など、**旅行需要の平準化・分散化を図ることが重要。**

世界11か国・地域における有給休暇の取得状況(2023年)



出典：Expedia「有給休暇の国際比較調査2024」

2024年に国内旅行を実施した曜日



出典：観光庁調査